



渾身の一球を投げる、秋月野球スポーツ少年団のピッチャー

白熱！ ボクらの決勝大会

Report

第11回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会

2014年11月8日(土)・22日(土)の2日間、
第11回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会「決勝大会」を開催しました。
中国5県の629チームのなかから激戦を勝ち抜いた8チームが
マツダZoom-Zoomスタジアム広島をメイン会場に、実力をぶつけ合いました。



「よっしゃーいっくぞっ！」

みんな燃えた！

試合中は、支えてきた保護者のみなさん、先輩のプレーを見守る未来の選手たち、みんなが熱の入ったエールを送りました。

「練習通りにー！楽しんで！」



中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会とは
「毎日ひたむきにがんばる子どもたちの夢を応援したい」という思いから、〈中国ろうきん〉の社会貢献活動の一環として2004年から開催。中国地区軟式野球連盟と〈中国ろうきん〉の共催により、2014年で第11回目を迎えました。

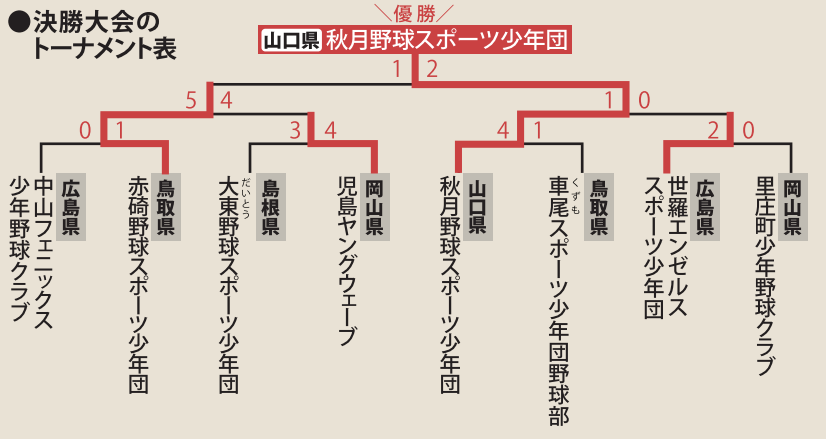
【参加チーム数・選手数】

	2013年度		2014年度	
	チーム	選手	チーム	選手
鳥取県	103	1,854	100	2,000
島根県	116	2,071	107	2,140
岡山県	139	3,197	135	2,700
広島県	159	2,522	158	3,160
山口県	150	2,508	129	2,580
合計	667	12,152	629	12,580

野球を通じて「物事に打ち込む」という経験を
「プロ野球選手と同じ球場に立てる！そんな誇らしさや緊張感を胸に、選手たちが入場。本大会を応援する方々からの励ましの言葉があった後、中山フェニックス少年野球クラブの主将・吉永飛鳥さんが選手宣誓を務めました。試合が始まると、どのチームも積極的な攻めで得点を狙います。ピッチャーの投げる球は100km/hを超えることもあり、また、果敢に塁を狙う走者は気迫の滑り込みも！各県を代表するチームだけあり、互角の戦いが続きました。



中国ろうきん理事長 金尾より開会のごあいさつ。



▼優勝メダル授与の様子。周りからは「おめでとう」の声と拍手が。



▲優勝が決まった瞬間。仲間たちが一斉にピッチャーに駆け寄ります。

自分を信じて、仲間を信じて掴んだ優勝！

11月9日に予定されていた決勝2日目はあいにくの雨のため延期となり、22日に会場を「ココ・コーラウエスト野球場」に移して開催。「自分を信じてー！」「かっとなげー！」など息の合った声援が応援席から飛び交います。インニング交代の際は選手たちが円陣を組み、「1点取るぞー！」と気合い入れの掛け声。緊張感のある接戦が続きましたが、最後に審判のアウトポーズが出た瞬間、優勝チームが決定！選手たちだけでなく、関わるすべての人にとって忘れられない思い出となりました。



秋月野球スポーツ少年団 主将

秋月野球スポーツ少年団

小学6年生10名、5年生7名の17名のチーム。優勝をめざし、3年間必死に練習してきました。「一緒に頑張ってきた仲間を信じ、野球ができる喜びと楽しさを実感した大会でした！」